

平成 28 年 4 月 15 日

報道関係各位

東京建物株式会社

「Brillia」のマンションモデルルームで 使用する電力を 100%再生可能エネルギーへ切り替え

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：佐久間 一）は、「Brillia」ブランドのマンションモデルルームにおいて使用する電力を、5月1日よりグリーン電力証書を利用して100%再生可能エネルギーに切り替えることとしましたので、お知らせします。

すべてのマンションモデルルームで使用する電力を 100%再生可能エネルギーに切り替えることは、住宅業界*としても初めての試みです。

（※ 2016年3月時点、当社調べによる）

住宅事業は、物件の大きさや耐用年数、使う資材も多様であり、環境に及ぼす影響も幅広く、とり得る対策も多岐にわたることから、当社では住宅における環境対策を体系化し、「Brillia 環境配慮型すまいガイドライン」を策定しており、「みどりを想う」「くらしを想う」「みらいを想う」という3つのコンセプトを設けて、すべての「Brillia」ブランドの住宅において、環境負荷の抑制に取り組んでいます。

「Brillia 環境配慮型すまいガイドライン」のコンセプト

- I みどりを想う ～ 緑あふれる「グリーン&クール」な住空間**
緑地を設けることでヒートアイランド対策を行い、生態系に配慮した豊かな自然環境を生み出す。
- II くらしを想う ～ 高効率でクリーンな住設備機器の導入**
高効率な機器で無理なく省エネし、非常時には防災にも貢献する。
- III みらいを想う ～ エネルギーと緑の「エコライフサイクル向上計画」**
維持管理への住民参加・コミュニティ育成により、IとIIのコンセプトがサイクルとして続いていくようにする。

これまで当社の住宅事業では、この3つのコンセプトに基づき、敷地内の緑化、太陽光発電設備や各住戸の電気使用状況を見える化する HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）などの機器を住宅開発に積極的に取り入れ、環境負荷を抑制することで環境に配慮した住まいづくりに取り組んできました。

東京建物グループでは、環境に配慮した住まいづくりを行うことはもちろんのこと、今回の取り組みによって、住宅の開発から販売に至るまでの事業活動全体を通じて再生可能エネルギーの普及を促進し、今後も持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。



Green Power
BIOMASS

みどりを想う
くらしを想う
みらいを想う

Brilliaのモデルルームで使用する電力は、
すべて自然エネルギーでまかなわれています。

Brillia eco
すべての人の笑顔を想う

Brillia

信頼を未来へ、120年。東京建物

※2016年10月1日、東京建物は創立120周年を迎えます。

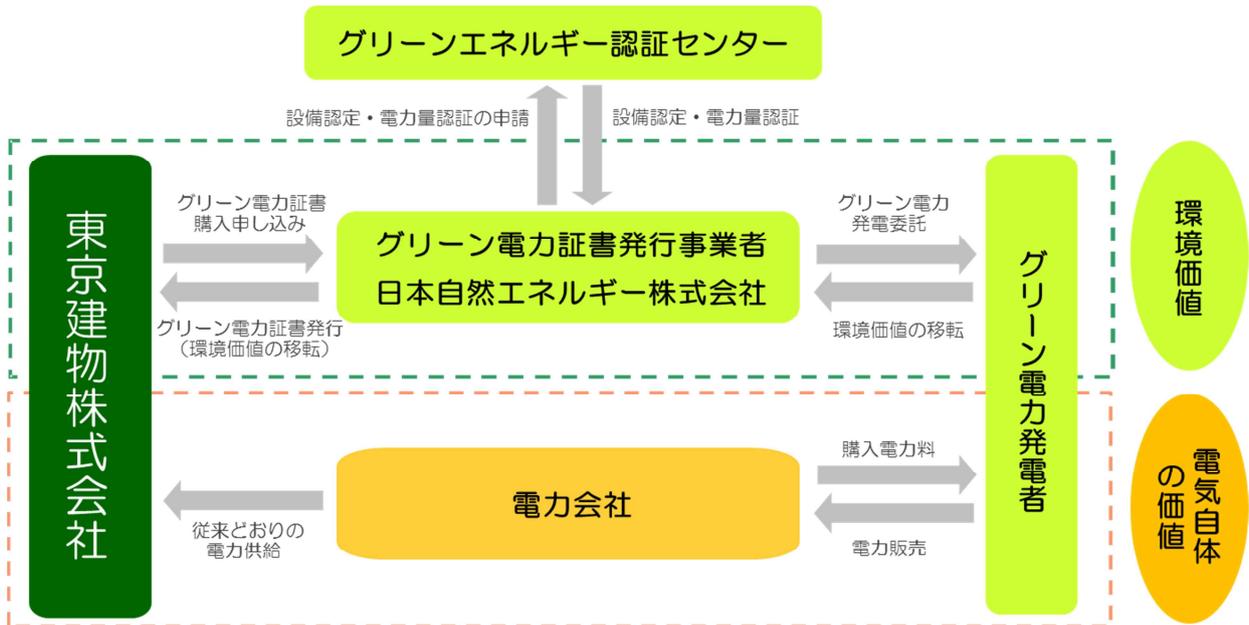
【グリーン電力証書とは】

グリーン電力証書制度とは、再生可能エネルギーによって発電された電力の環境付加価値（化石燃料削減・CO2 排出削減など）をグリーン電力証書という形で証書化することで、企業などが自主的な省エネルギー・環境対策のひとつとして利用できるようにする制度です。

グリーン電力証書は第三者認証機関であるグリーンエネルギー認証センターにて認証され、企業はグリーン電力証書を購入することにより、自らが発電設備を持たなくとも、使用する電気が再生可能エネルギーによって発電されたものとするのが可能となり、グリーン電力証書に記載された電力相当分の再生可能エネルギーの普及に貢献したものとみなすことができます。



【グリーン電力証書制度の概念図】



【5月1日以降、再生可能エネルギーを導入するモデルルーム（予定）】

No	物件名	所在地
1	Brillia 高輪 The Court	東京都港区
2	Brillia Tower 上野池之端	東京都台東区
3	Brillia 大井町 The Residence	東京都品川区
4	Brillia Terrace 小手指	埼玉県所沢市
5	Brillia 仙川 The Residence	東京都世田谷区
6	Brillia 目黒碑文谷	東京都目黒区
7	Brillia 文京江戸川橋	東京都文京区
8	Brillia City 石神井台	東京都練馬区
9	Brillia 上野 The Residence	東京都台東区
10	Brillia 小金井桜町	東京都小金井市
11	Brillia 東戸塚	神奈川県横浜市
12	Brillia 神戸学園都市	兵庫県神戸市
13	Brillia 西宮北口 West Court	兵庫県西宮市

【東京建物が近年開発した環境配慮に優れた住宅】

《Brillia Tower 池袋》



2015年3月に竣工した「Brillia Tower 池袋」は、11階～49階（最上階）の上層部が住居部分、10階までの低層部が店舗と豊島区庁舎となっています。

建物全体を「1本の大きな樹木」とイメージし、外装に「エコ・ヴェール」とよぶ環境を調整するパネルを取り付けました。エコ・ヴェールは、太陽光発電パネルや光を透過するシースルータイプの太陽光発電パネル、ガラス、緑化パネル（低層のみ）、再生木の柵（低層のみ）を不規則に取り付けたもので、用途の混在する建物の表情を一体的に統合します。太陽光発電パネルで作りだした電力は、設置されているゾーン別に使用されません。

また、4、6、8階には緑化したグリーンテラスを、10階には豊島区の自然を再現した屋上庭園「豊島の森」を設け、地域の環境教育にも活用されています。

《Brillia City 横浜磯子》



2014年2月に竣工した「Brillia City 横浜磯子」は、低炭素社会に向けたまちづくりの先駆けとなるべく、環境負荷を抑制するさまざまな最新技術を導入しています。

屋上には大規模な太陽光発電パネルを設置、年間発電量は32万kWhに及び、発電した電力は各住戸へ分配し、電気料金にして5%程度を賄います。

その他にも、電力一括受電システムや風力・ソーラーハイブリッド街路灯（6基）、低層棟の屋上緑化、熱効率の高い給湯器、電気自動車専用急速充電設備などを導入しており、建築物の環境性能を評価する「CASBEE 横浜」において、住宅棟12棟が最高評価のSランク、1棟がAランクとなりました。

また、約10haという広大な敷地の約75%を空地として緑化し、街の中に緑ではなく、緑の中に街をつくりだしています。

以上